

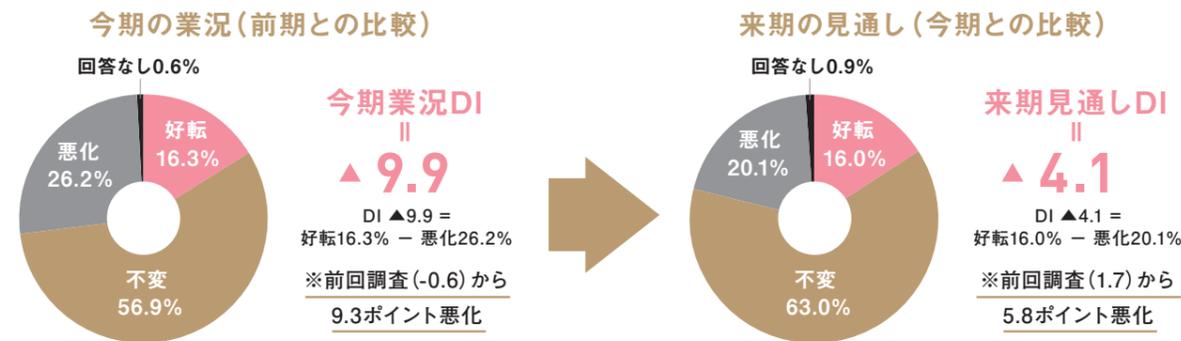
世田谷区における中小企業の景況

第55回調査実施概要

1.調査時期：平成28年4月1日～4月12日 2.対象期間：平成28年1月～平成28年3月期、および平成28年4月～平成28年6月期見通し 3.調査対象：支部会員中小企業(約2,790社) ①製造業・建設業・運輸業・その他の業種(②～④を除く)…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資本金1億

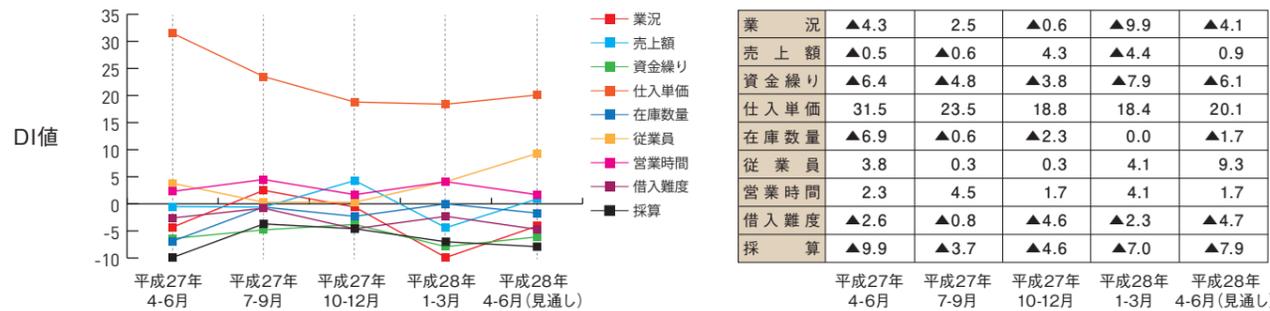
業況

今期(平成28年1月～3月期実績)の業況DIは、▲9.9ポイントで、前期から9.3ポイント悪化した。2期連続の悪化となった。来期の業況見通しDIは、▲4.1ポイントと、前回調査から5.8ポイントと3期連続、悪化が見込まれている。



主な指標別の傾向

今期は、従業員4.1(前期比+3.8)、在庫数量0.0(同+2.3)など、4指標のポイントが増加し、売上額▲4.4(前期比▲8.7)、資金繰り▲7.9(同▲4.1)など4指標のポイントが減少した。来期見通しは、売上額0.9(当期比+5.3)、従業員9.3(同+5.2)など4指標はプラスが見込まれる。



主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目：業況(好転⇄悪化)、売上額(増加⇄減少)、資金繰り(好転⇄悪化)、仕入単価(上昇⇄低下)、在庫数量(増加⇄減少)、従業員(増加⇄減少)、営業時間(延長⇄短縮)、借入難度(容易⇄困難)、採算(好転⇄悪化)

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	▲9.9	▲3.8	▲4.4	▲1.5	▲7.9	18.4	0.0	4.1	4.1	▲2.3	▲7.0
製造業	▲20.0	▲17.5	▲17.5	▲22.5	▲17.5	25.0	7.5	5.0	2.5	5.0	▲17.5
建設業	9.7	16.1	11.3	16.1	9.7	24.2	0.0	9.7	11.3	16.1	6.5
不動産業	▲8.7	▲4.3	▲4.3	▲2.2	0.0	10.9	4.3	8.7	0.0	▲4.3	▲8.7
卸売業	▲22.0	▲14.6	▲12.2	▲4.9	▲14.6	22.0	7.3	▲4.9	4.9	0.0	▲14.6
小売業	▲12.5	▲1.4	▲11.1	▲1.4	▲8.3	20.8	▲9.7	▲1.4	▲4.2	▲11.1	▲9.7
サービス業	▲12.2	▲8.5	0.0	▲2.4	▲17.1	11.0	▲1.2	6.1	8.5	▲12.2	▲4.9

主要景況指数表[来期の見通し(当期比)]

	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	▲4.1	0.9	▲6.1	20.1	▲1.7	9.3	1.7	▲4.7	▲7.9
製造業	▲5.0	▲2.5	▲10.0	17.5	▲2.5	7.5	2.5	2.5	▲5.0
建設業	0.0	1.6	3.2	29.0	1.6	12.9	1.6	8.1	▲9.7
不動産業	▲10.9	2.2	▲10.9	8.7	0.0	2.2	2.2	▲6.5	▲6.5
卸売業	▲7.3	▲7.3	▲12.2	26.8	0.0	9.8	2.4	0.0	▲12.2
小売業	▲4.2	6.9	0.0	22.2	▲5.6	11.1	▲6.9	▲9.7	▲1.4
サービス業	▲1.2	0.0	▲11.0	15.9	▲2.4	9.8	8.5	▲14.6	▲12.2

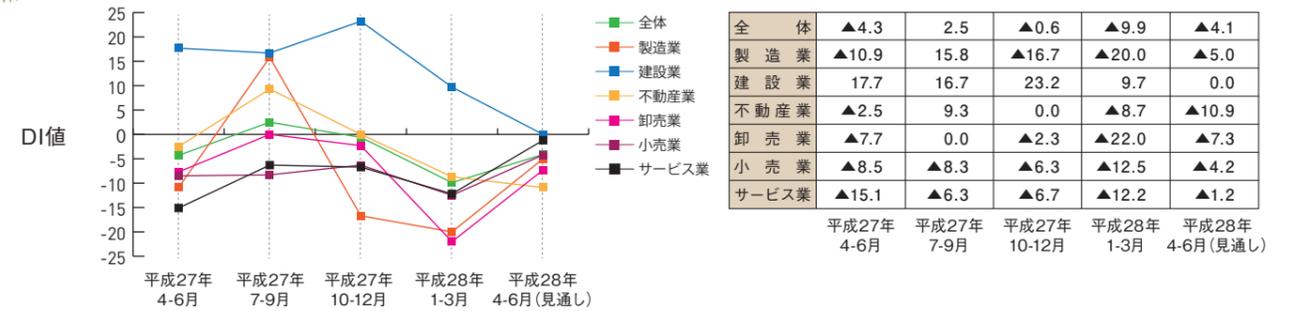
概況：<DI(Diffusion Index)とは…> DI(%)=[良い][増加]等企業割合-[悪い][減少]等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」したとする企業の割合が多く、景気(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景気が低迷の傾向にあることを示します。

円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下 4.調査方法：調査票郵送～郵送・FAXにて回収。世田谷信用金庫・昭和信用金庫に協力依頼。5.回収状況：合計343社(回収率12.3%) 製造業…40社・不動産業…46社・小売業(飲食業含む)…72社・建設業…62社・卸売業…41社・サービス業…82社

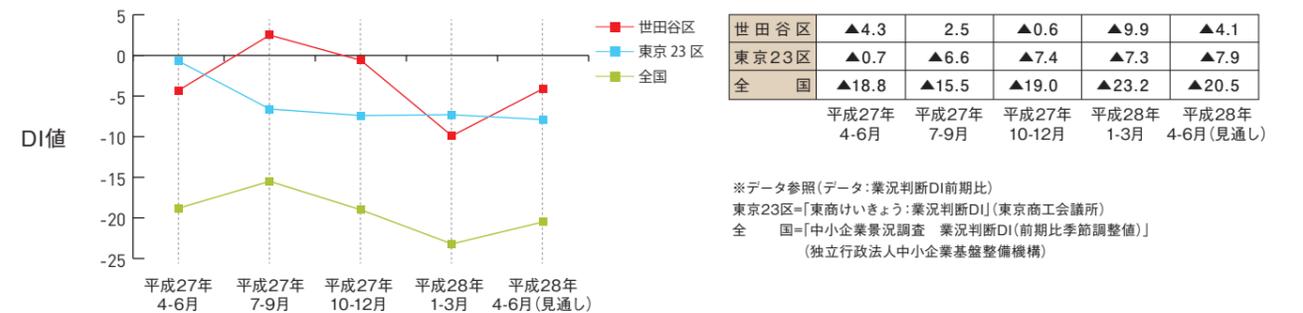
業種別の動向

今期の業種別DIは、「卸売業」▲22.0(前期比▲19.7)、「建設業」9.7(同▲13.5)、「不動産業」▲8.7(同▲8.7)など全業種で悪化した。来期は、「製造業」▲5.0(当期比+15.0)、「卸売業」▲7.3(同+14.7)、「サービス業」▲1.2(同+11.0)など4業種で改善する見通し。



東京都・全国との比較

「世田谷区」(▲9.9ポイント、前期比▲9.3)と悪化。「東京23区」(▲7.3ポイント、同+0.1)は2期ぶりに微少ながら改善し、「全国」(▲23.2ポイント、同▲4.2)は2期連続で悪化した。来期は、「世田谷区」(▲4.1ポイント、当期比+5.8)と「全国」は改善する見通し。



※データ参照(データ：業況判断DI前期比)
東京23区=[「東商けいきょう」業況判断DI](東京商工会議所)
全国=[「中小企業景況調査 業況判断DI(前期比季節調整値)」]
(独立行政法人中小企業基盤整備機構)

経営上の問題点

1位「人件費以外の経費の増加」23.3%(前期比+5.4ポイント)と前回順位7位から1位に上昇した。2位「従業員の確保難」22.7%(同▲3.6ポイント)、3位「需要の停滞」22.4%(同▲3.3ポイント)、4位「人件費の増加」22.2%(同▲0.1ポイント)、5位「新規参入者の進出や同業者の増加」21.6%(同+0.5ポイント)は前回順位から、それぞれ一つずつ順位を下げた。7位「大企業(大型店)進出による競争激化」17.8%(前期比+1.6ポイント)、12位「購買力の他地域への流出」6.1%(同+0.1ポイント)、などが前回順位より上昇し、8位「仕入単価、下請単価の上昇」17.5%(同▲3.0ポイント)、9位「販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難」13.4%(同▲3.9ポイント)などは前回順位から下降した。

順位	項目	回答数	回答率	前回順位	順位	項目	回答数	回答率	前回順位
1	人件費以外の経費の増加	80	23.3%	↑ 7	11	生産設備の不足・老朽化	25	7.3%	— 11
2	従業員の確保難	78	22.7%	↓ 1	12	購買力の他地域への流出	21	6.1%	↑ 13
3	需要の停滞	77	22.4%	↓ 2	13	その他	19	5.5%	↑ 15
4	人件費の増加	76	22.2%	↓ 3	14	事業資金の借入難	18	5.2%	— 14
5	新規参入者の進出や同業者の増加	74	21.6%	↓ 4	15	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	16	4.7%	↓ 12
6	購買ニーズの変化への対応	70	20.4%	— 6	16	代金回収の悪化	13	3.8%	↑ 17
7	大企業(大型店)進出による競争激化	61	17.8%	↑ 9	17	在庫の過剰	12	3.5%	↓ 16
8	仕入単価、下請単価の上昇	60	17.5%	↓ 5	18	在庫の不足	7	2.0%	— 18
9	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	46	13.4%	↓ 8	19	金利負担の増加	5	1.5%	— 19
10	取引条件の悪化	27	7.9%	— 10	20	生産設備の過剰	3	0.9%	— 20

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。